

## ● Lesson 2 「前置詞＋名詞」の副詞句

次の下線部の品詞を、読み下し訳(⇒...)を参考にして考えてみましょう。

### ① Go straight along this road and turn right at the traffic light.

⇒ 進みなさい・真っ直ぐに・この道路に沿って・そして・方向を変えなさい・右に・信号の所で。

→ この道路に沿って真っすぐに進み、信号を右折してください。

まず、下線(黒)についてですが、straight(真っ直ぐに)は動詞Goを修飾しているので「副詞」です。right(右に)も動詞turnを修飾しているので「副詞」です。次に、下線(赤)は、前置詞alongが名詞句this roadと結びついて動詞Goを修飾しているので「副詞句」、2番目は前置詞atが名詞句the traffic lightと結びついて動詞turnを修飾しているので、同じく「副詞句」です。このように、「前置詞＋名詞(名詞句や代名詞を含む)」は「副詞句」になります。

それから、前置詞はandを介した2つの名詞(句)と結びつくことがあります。次の例文の下線部がその例です。下線部はis closedという「動詞句」もしくはOur office is closedという「文」を修飾しているので「副詞句」です。

### ② Our office is closed on Sundays and public holidays.

⇒ 私達のオフィスは・である・閉じられた(状態)・日曜日に・そして・祝祭日に。

→ 私達のオフィスは日曜と祝祭日は閉まっています。

\* Sundays と public holidays が複数形なのは、それが複数回あること、つまり、日曜日/祝祭日の度に繰り返されることだからです。

前置詞は使用頻度の高い重要な単語です。主な前置詞を巻末の付録R3に掲載していますので、ご自身の意味がわかるようにしておきましょう。

live in a town は「町の中に暮らしている」、arrive **in** Kyoto は「京都の中(のどこか)に着く」です。arrive **at** Kyoto は、京都を「地図や路線図上の一地点」と見なしているため、「京都(駅)に到着する」と言う場合などに用います。

また、例文②の前置詞onは名詞と結びついて「時」を表しています。時の名詞(morning, afternoon, night, day, week, month, yearなど)を「時の副詞句」にする場合も前置詞を用いますが、次のルールに従って使い分けます。

<b>at</b> は「何時」「何分」「正午」「午前0時」など「時の一点」を表す。		
<b>at</b> five o'clock (5時に)	<b>at</b> 6:30 (6時30分に)	
<b>at</b> noon (正午に)	<b>at</b> midnight (午前0時に)	
<b>on</b> は「何曜日」「何日」など「特定の日」を表す。		
<b>on</b> Friday (金曜日に)	<b>on</b> the first of February (2月1日に)	
<b>on</b> December 25 (12月25日に)		
<b>on</b> は「…の午前・午後・夜に」という「特定の午前・午後・夜」を表す。		
<b>on</b> Sunday morning (日曜の午前)	<b>on</b> the night of April 5 (4月5日の夜)	
<b>in</b> は「月」「季節」「年」など「比較的長い期間」と「午前」「午後」「晩」を表す。		
<b>in</b> May (5月に)	<b>in</b> (the) winter (冬に)	<b>in</b> 2006 (2006年に)
<b>in</b> the morning (午前中に)	<b>in</b> the afternoon (午後)	<b>in</b> the evening (晩)

(注)「夜に」は **at** night とします。night(暗い寝ている時間)は「無(活動)」を表し、「無」には広がりがないので、「地点(=広がりを持たない)」の **at** を用います。evening(日没から就寝までの活動期間)には広がりがあるので **in** を用います。

但し、today, yesterday, tomorrow に付く前置詞は省略されます。また、this(今日の、今の)、every(毎)、next(次の)、last(この前の)、one(ある)、tomorrow(明日の)、yesterday(昨日の)などに修飾される名詞句も、前置詞が省略されます。

<b>on</b> today (今日)	<b>on</b> yesterday (昨日)
<b>on</b> tomorrow (明日)	<b>on</b> one day (ある日)
<b>on</b> this afternoon (今日の午後)	<b>in</b> every month (毎月)
<b>on</b> next Friday (次の金曜日に)	<b>on</b> last weekend (先週末)
<b>on</b> tomorrow morning (明日の朝)	<b>on</b> yesterday night (昨日の夜)

### ■ Note 「場所」と「時」の前置詞の使い分け

例文①の at the traffic light は「場所を表す副詞句」です。このように、「名詞」を「場所を表す副詞句」に変えるには **at** か **in** を用います。**at** は広がりを感じない「地点」を表し、「…の所に(=その前が周囲に)」という意味です。standing at the door なら「ドアの所に立っている」、arrive at the station なら「駅の所に到着する」です。**in** は広がりを感じられる対象に用い、「…の中に」という意味です。